

ご挨拶



新潟原動機株式会社
代表取締役社長
犀川 淳一

地球規模の温暖化対策については、京都議定書によって改善目標を設定していますが批准しない国もあり、先進国各国が自発的に目標を決定し誓約する方法や、途上国がCO₂削減行動を提出する方法など、見直しが進められている状況にあります。また、在来の天然ガスの燃料費高騰に伴い、シェールガス、メタンハイドレートなど非従来型の天然ガスが注目され、エネルギーのリソースが変わりつつある状況にもあります。

そのような中、当社では環境技術を重要技術として位置付けています。今年はハイブリッド推進システムを搭載した国内初、世界数例目の環境配慮型曳船（ハイブリッド型タグボート）「翼」が就航しました。本システムは2つの駆動源（主機関とモーター）および2つの電源供給源（発電機関と電池）を組み合わせています。特に低速航行時には積極的にモーターと電池を組み合わせることによって、燃料消費量の削減および船内環境（静穏性）の向上に繋がっています。

また、当社製品による温暖化対策として、陸用及び船用のガス燃料対応機関（デュアルフューエル仕様機関）を開発中で、実用化を目指し現在データ蓄積中です。

平成23年度からスタートした、中期5か年計画「ジャンプ NIIGATA 2011」は、今年度は新機種開発、生産体制の整備および品質向上・信頼性向上を重点に全社一丸となって取り組んでおります。コンプライアンスを「社会的な要請に応えて信頼される会社になる」という視点でとらえ、あらゆる皆様の目線での取り組みを実践していきます。

今後とも当社の活動に対しまして、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。